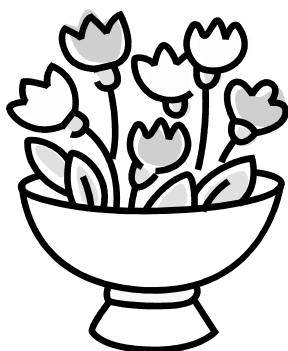


# ちょっといい話

## I



瑞浪市

はじめに

近年、わたしたちの周りでは、コミュニケーション不足や人間関係の希薄化が進んでいるように感じられます。

今回「ちよつといい話」と名付け、身の回りでの経験、あるいは心温まる出来事を募集しましたところ、350件の応募をいただきました。

お話を読み進めるうちに、ほんの少しの「言葉掛け」や「行動」が相手を励ましたり、温かい心にしたりして、互いを思いやり「よく生き合おう」とする姿が浮かんできます。

このことが、人権への理解を深める機会となれば幸いです。

小 学 校 編



＊・＊・＊ 小学校低学年編 ＊・＊・＊

助かったよ

〔家族から〕 ▼料理の手伝いをしたら言ってくれた。

かしてあげるよ

〔友達から〕 ▼さんすうの答えをかしてくれてうれしかった。

▼友達は大事だと思った。

おはよう

〔友達から〕 ▼おはよう」と言ったら「おはよう」と言ってくれた。おはようと言ってくれ

たなと思った。

▼あいさつをしてくれてよかったし、うれしかった。

だいじょうぶ？

「友達から」

- ▼ 転んだ時に言ってくれた。
- ▼ 僕のことを思ってた。
- ▼ いっぱい言ってくれたからうれしくて全然いたくなくなった。今度はぼくがみんなに言っておきたい。
- ▼ うれしかったし、いたくなくなった。
- ▼ ぼくが※えらかったとき、「だいじょうぶ？」と言ってくれたので、うれしかったし、元気になってきました。
- ▼ わたしも誰かがころんだら「だいじょうぶ？」と言える人になりたい。
- ▼ 一輪車でころんだときに声をかけてくれて、とてもうれしかった。
- ▼ 助けてくれる仲間がいっぱいいるんだと思った。
- ▼ ぶつかった時、一番最初に言ってくれてうれしかった。
- ▼ 泣いている時に助けてくれた。

※苦しかった

一人じゃできないこともあるから手伝ってあげるよ

「友達から」 ▼重いものを運んでいる時、そう言って手伝ってくれた。

すごいね

「家族から」 ▼粘土作品が入選した時に言ってくれた。

「友達から」 ▼初めてのぼり棒が登れた時に言ってくれた。

▼マラソンの時に言ってくれた。

▼Mちゃんはいつも私のことを見てくれるからうれしい。私もMちゃんみたいに友達のことをやさしい目で見てあげたいなあと思いました。

▼ねんざしているときにがんばって走ったら、友達からほめてもらえて、痛いのも痛くなくなっただし、心が温かくなった。ぼくもがんばっている人を見たら「すごいね」と言ってあげたい。

▼友達に言われてうれしかった。

いつしよにあそぼ

「友達から」

▼一人で遊んでる時にさそってくれてうれしかった。

▼いつもはあんまり遊ばない子がさそってくれてうれしかった。

▼あそぶ人がいないときに声をかけてくれてうれしかった。

▼いつでもあそべる友達がいる事はいいことだと思った。

▼いつも女の子とあそんでいるけど、男の子とも遊べてよかった。

▼「こんなうれしいことをいつてくれるともだちがいてうれしいなあ」と思った。

▼一番最初にさそってくれる友達がいてよかった。

▼うれしくて、ニコニコ笑顔になった。

▼休み時間に声をかけてくれるのが一番うれしい。

はい、どうぞ

「友達から」

▼落とした消しゴムを拾ってくれた時に言ってくれてうれしかった。



## ありがとう

「家族から」

▼お母さんの仕事を手伝ったら言ってくれた。

▼ハンカチを渡したら言ってくれた。

▼ごはんの支度を手伝ったら言ってくれた。

▼帰り道にモミジやきれいな石を拾って渡したら言ってくれた。

▼おばあちゃんが風呂呂に入っている間に、布団をしいてあげたら言ってくれた。

「友達から」

▼わからない問題を教えてあげたら言ってくれた。

▼えんぴつを拾ってあげたら言ってくれた。

▼「いっしょに遊んでくれて、ありがとう」と言われてうれしかった。

▼荷物を持ってあげたら言ってくれた。

▼遊びにさそったら「さそってくれてありがとう」と言ってくれた。

▼一枚だけでも、ひろったらすぐにありがとうと言ってくれてうれしかった。

▼落ちていたさんすうの答えを見つけたら言ってくれた。絶対なくさない友達だ

と思った。

▼忘れた服を持っていったら言ってくれた。

## がんばれ

〔家族から〕

- ▼ マラソン大会の時、応援してくれて速く走ることができた。
- ▼ うまく自転車に乗れない時、お母さんが言ってくれた。
- ▼ 逆上がりができない時に言ってくれてうれしかった。
- ▼ 優しく「がんばってね」と言われるとパワーがわいてくる。

〔友達から〕

- ▼ マラソンの時に応援してくれてうれしかった。
- ▼ 算数のプリントをやっている時に言ってくれてうれしかった。
- ▼ 一輪車で転んでしまった時に言ってくれた。
- ▼ 「がんばれ」と言われるとこれからもがんばれる。
- ▼ みんなが応援してくれてうれしかった。

## 遊びを作ってきたからいつしよにあそぼう

〔友達から〕

- ▼ ぼくたちが楽しくあそべるように、夜に作ってきてくれたので、ぼくもみんなが楽しくあそべるあそびを考えて、みんなで遊びたい。

てつだってあげる

「友達から」 ▼授業も終わりそうなのありがとう。自分もがんばろうと思った。

いっしょにはこぼう

「友達から」 ▼机をはこぶときに手伝ってくれて、いっしょにやったので早く終わりました。

いいよ

「友達から」 ▼「いれて」って言ったら「いいよ」って言うてくれた。

▼「いれて」って言ったら入れてくれたのでうれしかったし、言うてよかったと思った。

▼「いいよ」って言うてくれてすごくうれしかった。

▼遊びにさそったら「いいよ」って言うてくれてうれしかった。

▼家に行ってもいいか聞いたたら「いいよ」って言うてくれた。

## 上手だね

〔家族から〕

▼ほめてもらとうれしくなる。

〔友達から〕

▼笑顔で言ってくれたのでうれしかった。

〔先生から〕

▼発表会で緊張していた時に「練習通りにやればいいよ」と言って、終わってから「いつもより上手だったよ」とほめてもらい、とてもうれしくなって練習して良かったと思った。

## ねーね

〔家族から〕

▼弟はまだ「お姉ちゃん」と言えないから「ねーね」と呼んでくれる。

## 本気でやれば勝てる

〔友達から〕

▼相手が強くて負けそうな時に言ってくれた。

ボールがキャッチできたね

「友達から」▼ボールがキャッチできて、さらにほめられたのもっとうれしくなった。今度はみんなをほめてうれしくしたい。

またあそぼ

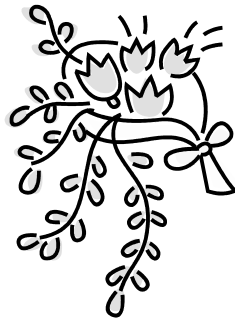
「友達から」▼楽しかったから、また遊びたい。

もう一回絵本読んで！

「家族から」▼妹に絵本を読んであげたら言ってくれた。

持ってきてあげるよ

「友達から」▼時間がなくて急いでいたときに、忘れた帽子を持ってきてくれたのでとても助かりました。



入って

「上級生から」▼ドッジボールに入りたいとき、Tくんが言ってくれてすごくいい気持ちになった。Tくんみたいなやさしい人になりたい。

教えてあげるよ

「友達から」▼困った時にいつも助けてくれる。僕も助けてあげたい。

やったね

「友達から」▼初めて一輪車に乗れた時に言ってくれた。

いい子だね

「家族から」▼親戚の人にイスをゆずってあげたらほめられてうれしかった。

レベルアップしたね

「先生から」▼算数の時間に言ってくれた。苦手なところを勉強して、テストで満点が取れるようにしておきたい。

やつといたよ

「友達から」▼休み時間に、かわりにまどを開けてくれた。ちゃんとまどを開けてから遊びに行きたい。

いたかった？

「友達から」▼ぼくを気づかっているんだなあと思ってうれしくなった。ぼくも友達がころんだりしたら心配して声をかけてあげたい。

おいしかったよ

「家族から」▼おじいちゃんとおばあちゃんの三人でかりんとうを分けて食べた。

楽しかったよ

「家族から」▼おばあちゃんの家に行くと、おばあちゃんがいっぱい遊んでほめてくれるのでうれしい。

ぜんぶの店が楽しかったよ

「下級生から」▼学校でやったお店屋さんごっこで、どのお店が楽しかったか聞いたたらこう答えてくれた。



どうしたの？誰かにいじめられたの？

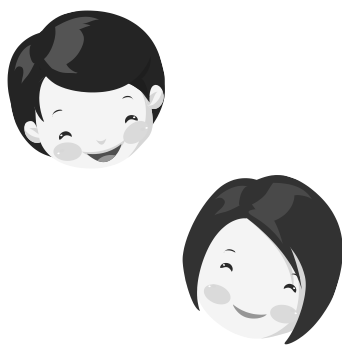
「上級生から」▼昼休み、ぼくが使っていたボールがみんなにとられたときに言ってくれてうれしかった。

どんどん練習すればできるよ

「家族から」▼鉄棒ができなかった時に言ってくれた。

よかったね

「家族から」▼絵が入選した時に言ってくれた。



あともう少し、がんばって

「家族から」

▼宿題があと少しの時に言ってくれた。

「友達から」

▼ダルマ回りができなかった時に言ってくれてうれしかった。

いいよ

「友達から」

▼雪だるまをつくろうとさそったら「いいよ」と言ってくれた。一人じゃできないことだからうれしかった。

▼遊びにさそったら言ってくれた。あそんでくれる友達がいてすごくよかったなと思った。

▼「ドッジボールに入れてほしい」と言ったら「いいよ」と言ってくれた。

▼「マラソンと一緒に走ろう」と言ったら「いいよ」と言ってくれた。時々他の人にいやって言われるからうれしかった。

いいよ、いいよ、○○ちゃんは悪くないよ

「友達から」

▼大なわとびで失敗した時に言ってくれて元気が出た。

一緒に遊ぼ

「友達から」

▼誘ってくれてうれしかったので、私も誘ってあげたいと思う。

▼休み時間に誘ってくれてうれしかった。

▼私が遊びに行こうとしたら声をかけてくれた。私のことを気づかせてくれる仲間がいてよかったと思う。

▼一人の時に誘ってくれてうれしかった。楽しい休み時間になった。

▼休み時間に誘ってくれてうれしかった。

一緒にほこぼう

「友達から」

▼※ロイター板ロイター板をはこんでいたら言ってくれた。私が一人で持っていることに気づいてくれて心が温かくなった。

※とび箱などに使用するばねを内蔵した踏切板

## ありがとう

「家族から」

▼お手伝いをしたら言ってくれた。

▼誕生日にプレゼントをあげたら言ってくれた。とてもうれしかった。

「友達から」

▼消しゴムを貸してあげたら言ってくれたのでうれしかった。

▼鉄棒のやり方やコツを教えてあげたら言ってくれた。そんな気はなかったけどうれしかった。

▼落とした鉛筆や消しゴムを拾ってあげたら言ってくれた。少しの事だけどうれしかった

▼学校を休んでいた友達に勉強を教えてあげたら言ってくれた。とてもうれしかった。

▼行事の準備の時に言ってくれて、うれしかったし、もっと頑張ろうと思った。

▼スリッパをそろえたら言ってくれた。自分でもスリッパをそろえて気持ちよかったけど、「ありがとう」と言われて、もっと気持ちがよかった。

▼ふでばこを拾ってあげたら言ってくれました。お礼を言ってくれる友達がいてうれしくなった。

▼みんなより早く運動場へ行ってボールを取っておいたら言ってくれた。次にこ

ういう機会があつたらまたやりたい。

▼ラップを切っていたら言ってくれた。好きでやっていたわけじゃないけど、私がやるとみんなが楽になるんだと分かったので続けられた。

▼一人だったけど図書当番をやつてよかったと思つた。

▼鉛筆を拾つてあげたら言ってくれた。ひろつてよかったと思つた。

▼友達が忘れていた服を拾つてあげたら言ってくれたのでとてもうれしくなつた。  
「下級生から」▼ワックスがけが終わつて、オルガンや教壇をはこんだら言ってくれた。重か

つたけどはこんで良かったなと思つた。

「地域の人から」▼道路の落ち葉を掃いていたら「おかげで住みやすくなつたよ。ありがとう、うれしいよ」と言ってくれてうれしくなつた。

ごめんね、大丈夫？

「友達から」▼私の顔に雪が当たったらすぐ言ってくれた。後でじゃなく、すぐに謝ってくれてやさしいなあと思つた。「大丈夫？」とも言ってくれて、冷たかつた雪もなんだか温かく感じて、本当にいい友達だと思つた。

拾つといたでね

「友達から」▼ぼうしを落としたときに拾っておいてくれてとてもうれしかった。ぼくも人の落し物は拾ってあげたい。

一緒に行こう

「友達から」▼休み時間にさそってくれてすごうれしかったし、いっしょに遊んで楽しかったから、友達はいいなと思いました。

▼休み時間や学級遊びの時に言ってくれた。

▼一人で行こうとした時に言われてうれしかった。

かたづけよつか

「友達から」▼とび箱の片付けのとき一緒に片付けてくれた。ぼくも友達が困っていたら助けようと思う。

一緒に探そうか？

「友達から」▼代本板が見つからない時に言ってくれてうれしかった。

持ってきてあげるよ

「友達から」▼私がちょうど使いたいときに言ってくれて、とてもうれしかった。

おいしかったよ

「下級生から」▼いもきんとんを作ってあげたら言ってくれた。作ってよかったと思った。

こうやってやるんだよ

「友達から」▼算数の時間に質問したら教えてくれた。困った時に助けてくれる仲間がいてよかった。

▼授業中、分からないところがあったら教えてくれるのでうれしかった。

教えてあげる

「友達から」▼わからない問題がある時に教えてくれた。

いつてらっしゃい

「家族から」▼「おかえりなさい」や「ありがとう」もうれしいけど、「いつてらっしゃい」と

言ってもらえると一日がんばるためのエネルギーになる。

おかえり

「家族から」▼前は帰っても一人だったけど、今は「おかえり」と言ってくれる人がいるので

うれしいし安心する。

おはよう

「友達から」▼朝、学校で言ってくれた。当たり前の言葉だけどうれしかった。





先にどうぞ

「友達から」

▼時間が少ないのにゆずってくれてうれしかった。

▼バスから降りる時に言ってくれた。他の人は自分が最初に行こうとするから、

この時はうれしかった。

がんばれ

「友達から」

▼マラソンの練習で、最後にペアの子が応援してくれた。

「地域の人から」

▼音楽会の時に言ってくれたので、がんばって歌おうと思った。応援してく

れた事がうれしかった。

▼朝、「寒いけどがんばれ」とあいさつしてくれてうれしかった。

気いつけていつてらっしゃい

「家族から」

▼家を出る時に言ってくれる。この言葉を聞くと、うれしい気持ちさがこみ上げて

がんばろうと思う。

今日も頑張ってね

「家族から」▼学校へ行く時、いつも笑顔で言ってくれるので、頑張ろうと思える。

こんにちは・さようなら

「地域の人から」▼帰り道で畑仕事をしているおばさんにあいさつしたら、やさしく「さようなら」と返してくれたのでうれしかった。

いいよ、やっておくわ

「友達から」▼自分が大変な時に言ってくれて、すごくうれしかった。

一緒にがんばろう

「先生から」▼分数の引き算が苦手で、昼休みに勉強していたら言ってくれた。

今日遊べる？

「友達から」▼帰り道で言ってくれた。

気にするな

「友達から」▼野球の試合中にミスをした時に言ってくれてうれしかった。

大丈夫？ いたい いたい の とんでけー

「友達から」▼とても痛いときに「大丈夫？」と聞いてくれてうれしかったし、「いたい いたい の とんでけー」で痛みが少しでもなくなった気がした。とってもうれしくて、友達がいてよかったなと思った。

気をつけてね

「地域の人から」▼一人で歩いていたら「家まで気をつけてね」と言われて元気が出た。



こっちは大丈夫やで、執行部の仕事やつてきていいよ

「友達から」▼花の木行事の準備の時、声をかけてくれて、とても助かったしうれしかった。

手伝おうか？

「友達から」▼とてもうれしかった。

▼最初は一人で大変だったけど、「手伝おうか？」と言ってくれて、友達はとても大切だと思った。

▼体育の後、とび箱を片付けていたら言ってくれた。一人で運んでいて大変だったけど、そう言って手伝ってくれてうれしかった。

▼家庭科の時間、なかなかできなかったけど、手伝ってくれたおかげでとても助かった。

ごはん食べやー

「家族から」▼ごはんを食べていない時に言ってくれた。

## 大丈夫？

「友達から」

- ▼けがをした時に言ってくれた。
- ▼転んだときに声をかけてくれた。
- ▼ぜんそくが出たときに言ってくれた。
- ▼その時いやな気持があったけど、「大丈夫？」と言われて安心した。
- ▼やさしい友達がいてよかったと思った。
- ▼心配してくれてうれしかった。
- ▼雪合戦をしていて雪が服の中に入ってしまったとき、「はらってあげるよ」と言っ  
てはらってくれた。雪は冷たかったけど、やさしくはらってくれたので、い  
つでも助けてくれる友達がいてよかった”と改めて思いつた。すごく心が温か  
くなった。
- ▼体調の悪いときに言ってくれてうれしかった。
- ▼転んだときに「大丈夫？」と聞かれて、痛みがなくなった気がしたので、私も  
そんなふうに言えるようになりたい。
- ▼転んで痛かったときに心配してくれたので、とてもありがたいなと思った。
- ▼体育で目に砂が入った時「一緒に休もう」と言ってくれた。

味方になれなくてごめんね

「友達から」

▼他の友達とけんかして深く悲しかった時に言ってくれた。とてもうれしくてうれしくて涙が出た。

大丈夫だよ

「友達から」

▼テストの点が低くて落ち込んでいる時に慰めてくれた。

▼剣道の試験に受かっているか不安な時に言ってくれた。不安が少し無くなった。

▼苦手な事があった時「次は絶対出来るよ」と言ってくれてうれしかった。

すごいね

「友達から」

▼鉄棒でできなかった事が出来たときに言われてうれしかった。

▼サッカーをやっている時に言われてうれしかった。

▼ポスターの絵が入选した時に言ってくれてうれしかった。

持つてあげようか？

「友達から」▼最初は持つのに苦労して落したりしていたけど、友達が持つてくれたので少し楽になった。

▼手紙をはこんでいたら手伝ってくれた。すごくやさしいと思った。

主張大会、よかったよ

「友達から」▼友達が主張大会を見に来てくれた。次に会った時、「よかったよ」「上手だったよ」と言われてうれしかった。

大丈夫？ 悲しいね

「友達から」▼おじいちゃんが死んじゃったときに言ってくれた。この言葉が落ち込んでいる時に励ましてくれた。

一つ持ってあげようか？

「友達から」▼荷物をたくさん持っていたら言ってくれた。やさしいなと思った。

ナイス！

「友達から」▼サッカーで点をいれた時に言ってくれた。

▼ドッジボールで、相手チームに当てた時に言ってくれた。

すごいやん、がんばったやん

「家族から」▼テストなどでいい点を取ると言ってくれる。すごくうれしくて、もっといい点

が取りたくなった。

待っててあげるね

「友達から」▼トイレに行っている間、帽子を持って待っててくれたのでうれしかった。



ドンマイ

「友達から」

▼大なわとびで失敗した時に言ってくれてうれしかった。  
▼野球でアウトになった時に言ってくれた。

はい、どうぞ

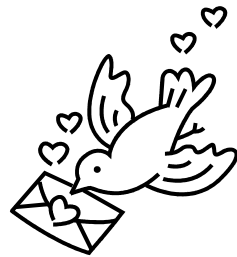
「友達から」

▼落とした鉛筆を拾ってくれた。わざわざ離れたところから来て拾ってくれたのでとてもうれしくなった。

また遊ぼうね

「友達から」

▼いつもあまり遊ばない子と遊んだ後に言ってくれた。うれしかったし元気になった。



もう少し

「先生から」▼算数の時に「もう少しだからがんばれ」と励ましてくれた。

よかったね

「友達から」▼逆上がりができなくて練習していたらできるようになった。その時に言ってくれたのでとてもうれしかった。

早くあそびに行こう

「友達から」▼私をさそってくれる友達がいるんだと思ってうれしくなった。私も一人にいる子を自分から誘いたい。

大丈夫、待ってるよ

「友達から」▼みんなが笑顔で待っていてくれてうれしかったし、いい友達だと思った。

早く立ったほうがいいよ

「友達から」▼だらだらしていたのもう少ししつかりしたほうがいいと思った。

ヤッター、ナイス

「友達から」▼野球の試合でヒットを打ったら言ってくれた。ますますヤッターと思った。

用事が終わったから、児童会手伝うよ

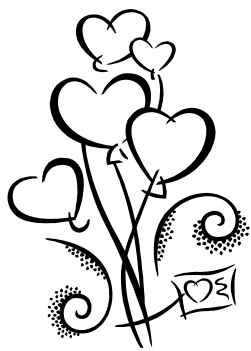
「友達から」▼一人で準備をしていたら言ってくれた。とてもうれしかった。

おいしそう

「友達から」▼お弁当の日に、「○○ちゃんのお弁当、おいしそう」と言われてうれしかった。

早く遊ぼう

「友達から」▼休み時間で少し遅れた時に言ってくれた。



中 学 校 編



私のクラスはみんな仲がよく、いつも協力できます。だれとでも話せるし、協力して行事に取り組めます。何か問題が起こってしまっても、すぐ全員で話し合って解決することが出来ます。

私にとって、安心できるクラスです。

中二・女子

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

### 友達からの電話

私が学校を休んでいたとき、友達が電話をくれました。友達は、その日は塾で忙しいのに「だいじょうぶ？」と心配してくれました。その一言がとてもうれしかったです。

中二・女子



私が毎日通る通学路。いつも同じ時間に道路を掃除しているおじさんは私が「おはようございます。」と言うとにつこりほほえみながら「おはよう。」と言ってくれる。

それに、時々その道を通らない日があると「昨日は通らんかったやないかあ。」と笑顔で声をかけてくださる。

その時、私はまわりの人に見守られているんだ…と思うと、登校の時はずっと寒いけどなんだか心はホッとあたたかくなるような気がした。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴

母と電車に乗っていた時、男の人が気分が悪くなってしゃがみこんでいました。周りの人は見て見ぬフリをしていたけど、一人の女の人だけは、電車はこんでいて座りたいはずなのに、

「大丈夫ですか？席かわりますよ。」

と、席をかわってあげていました。私もこまっている人がいたら助けてあげたいです。

中三・女子



∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

九月、体育祭がひらかれました。中学校生活最後の体育祭です。多くの種目を行った結果、私達白軍は、総合優勝、応援合戦準優勝という結果でした。体育祭終了後、私達は涙を流しました。うれし涙ではなく、悔し涙です。応援で優勝ができず、とても悔しかったからです。

私はこの経験を通し、どんなことでも高みを目指して挑戦できる人になりたいと思いました。

中三・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

何年前か前、私は老人ホームのボランティアに行く祖母についていったことがある。夏休みの最中という事もあり、私はあまり乗り気ではなかった。しかし、そんな私に「ありがとう」と言う言葉と笑顔をくれた方がいらっしやった。

「また来たいな」

そう思える経験となった。

中三・女子

勉強がいきづまった時、色々な形で支えてくれた家族。笑いながらや怒りながらと氣にかけてくれた家族。ぼくは、そのおかげで勉強をもっとやろう、受験に合格してやると思った。

中三・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

私が陸上で走っているときに、仲間の人が「ファイター！」と声をかけてくれて、うれしかったし、とてもやる氣になりました。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

私が困っているとき、何も言わずに友達が手伝ってくれた。私も困っている人を助けられる人になりたい。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*



登下校のときに、人にあいさつをしたら、その人がこつちをむいて笑顔で「おはよう」といつてくれたのがうれしかった。

中一・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

ぼくは、よく家族に相談することが多い。そんなときに、真剣に相談にのってくれる父と母がいる。他の事をしながらだけど、相談にのってくれる2人の兄がいる。  
そんな家族にぼくはいつも感謝しています。

中三・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

係でプリントをくばるときや、給食をくばったときに、くばった人に「ありがとう」といつてもらえて、ちよつとのことだったけどうれしかった。

中一・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

毎朝私が登校する時に、必ず会うおじいさんがいます。その方は、ウォーキングをしていて、私と会うたびにあいさつをしてくれて「今日も早いねえ。学校頑張つてね。」と声をかけてくださります。

その言葉を聞くと、私にとても温かい気持ちになり、元気が出ます。今度はそのおじいさんに私が元気をあげたいです。

中三・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

私は自転車で学校まで向かいます。自転車だととても速く、地域の人にあいさつをしても、返してもらえない時があります。でも、どこからあいさつの声がするのか、一生懸命探してあいさつを返してくれる人がいます。

今の時期、とても寒いですが、とても温かい気持ちになります。

これから、地域の人にたくさんあいさつをして、たくさんの人にあいさつを返してもらえるようにしたいです。

中三・女子



∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

学校からの下校の途中で、地域のお年寄りの方とすれ違いました。もちろんお互いのことは知りません。しかしその方は、僕に向かって「おかえり」と言っ  
て下さいました。

どこのだれかも分からないのに、やさしい笑顔で声をかけて下さいました。  
とてもうれしく、温かい気持ちになりました。

中三・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

僕が部屋から出る時、彼女もそこから出ようとした。扉を閉めずに出た僕に  
「ありがとう」と彼女は言った。

その時僕は持っていた本を落とした。すると彼女はそれを僕に渡した。「あり  
がとう」と僕も言った。やったことは返ってくると言うが、こんなにすぐ返っ  
てきたのに驚いた。

立ち去った彼女はきれいだった。

中三・男子

少し前におばあちゃんが体調をくずすことがありました。

その時、おじいちゃんが急いで私たちをよびにきて、おばあちゃんの家にくと、おじいちゃんがとても心配そうにかんびようしていました。

少しねただけで急いでたきおこしているおじいちゃんの姿を見て、とても温かい気持ちになりました。としをとっても互いを心配し合える「ふうふ」つて良いなあと思いました。

私もこんな関係がきずける人になりたいと思いました。

中二・女子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴

頼れるエース。

自分がエラーしてしまった時、「打たれたのが悪かった」と言う。

エースと言うだけで全部の責任を背負ってくれる。

すべてにおいて頼れると感じたエースだった。

中三・男子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴



部活でミスをしたときなど、みんなが「ドンマイ!」「おいしいよ!」など声をかけてくれます。

なにげないことが、とても、とても、うれしいと思えます。次頑張ろうという気持ちになります。

だから、私も仲間がミスなどをしたら「ドンマイ」「おいしいよ」など言いたいし、「いいね!」「すごい!」なども声をかけていきたいと思っています。

そして、みんながうれしい気持ちになれるようになったらいいなと思います。

中一・女子

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

私が体調をくずして保健室にいたときのこと。

その週は私が週番をやらなければならなくて、どうしようか迷っていました。その時、私のかばんを持ってきてくれた友達が、私のかわりに週番をやってくれました。自分の番ではないのに、委員会もちがう友達がかわってくれたので少しうれしかったです。

中二・女子

いつもよく会う地域のおじさんがいます。その人は、会うたびに笑顔であいさつしてくれたり、話しかけてくださります。そういうコミュニケーションは大事だなと思いました。

中三・男子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

僕は、スポーツの中で一番好きな野球を七年間やっていました。

ある日、家で親に「頑張れよ！」と言われたことがあります。その言葉のおかげで野球を続ける勇気が出ました。その結果、自分たちの最高のプレイをしたことがあります。親に感謝です。

中三・男子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

ピアゴでエレベータがこんでいる時にお年寄りにエレベータをゆずっていた若い人がいた。

中二・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

私はこの前、ある道路を救急車が通って行くのを見ました。救急車なので、道をあけるのは当たり前のことなのですが、ある時道をあけていない人がいて、そんな人もいるんだあって思いました。でも、多くの人が道をあけていて、すごいなあって思いました。

そんな、当たり前のことができた家の人は良いと思ったし、なかなか通れない救急車が可哀想で涙が出そうになりました。

中一・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

毎日かならず中学校のみんなが朝に「おはようございます」や、帰りに「さようなら」と言う声が聞こえてきます。

先生たちばかりでなく、地域の人やお客さんやだれにでもあいさつができて私はすごいと思います。当たり前のことかもしれないけど、そのあたりまえをみんな1人1人がちゃんとやっていてすごいと思います。

中三・女子

あいさつ当番のときに、あいさつをしたら、大きな声であいさつをしてくれて、うれしかったし、自分ももつと大きな声であいさつをしなくちゃいけないなと思った。

中一・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

マラソン大会で走っている時に、地域の方々が、「がんばって」など応援してくださって自分も励みになりました。  
小さい子たちも私達に頑張つて応援してくれて、うれしかったです。

中三・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

校長先生は、毎朝、寒いのに信号のところであいさつをしていました。すごいなと思いました。僕が車できてもしつかり頭を下げてくれ、とてもうれしかったです。

中三・男子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

公園で遊んでいる時、小さい子供とぶつかった。その時に、小さい子から「ごめんなさい」と、言ってくれた。

どちらが悪いという訳ではないけど、自分からそんな事の言える人になりた

中三・男子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

自分の大っきらいなマラソン。しかし学校ではマラソン大会があります。取り組みからいやだなという気持ちでとりくんでいました。

そして大会当日、4 kmの道のりを走って最後のラストスパートの時。「ラスト！」「がんばれ！」という声が聞こえてきました。

走るのにせいっぱいで誰が応援してくれたのかは分からなかったけど、とてもあったかい気持ちになりました。4 kmの道のりを完走できてよかったと思います。

中一・女子

私は歩いて登下校します。毎日、信号のところでは校長先生が立ってみえるので、「おはようございます」とあいさつをします。でも、たまにかぜで休んでしまう時や、病院に行くためにちこくする場合があります。そうすると、朝校長先生に会ってあいさつすることができません。

そうした次の日、いつものように歩いて学校へ行き、校長先生にあいさつすると、校長先生が、「きのう、朝見なかったけど、どうかしたの？だいじょうぶ？」と言ってくれます。校長先生が、1人1人生徒を心配してくれるので、すごくいいと思いました。

歩いて学校に来る人を記憶して、1人でも来ていなかったらすぐ心配してくれるので、すごくやさしいなあと思います。

中二・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

登校している時に「おはようございます」というと、笑顔で「おはようございます」とあいさつしてくれます。朝は寒いし、ねむたいけど、それをみただけで元気になり、とてもうれしかったです。

中二・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

いつも、朝学校へ行くと、横断歩道のところで校長先生が立っています。このごろ、寒くなってきたのに、毎朝、通りかかる車に頭を下げたり、登校中の児童・生徒の子たちに、あいさつしています。

そして、学校へ行くと、友達・先生方・生徒会の人や生活委員の人たちが、いつもあいさつしています。このようなことが、毎日当たり前でできているので、すごいと思うし、やっぱり「あいさつ」っていいなと思いました。

また、あいさつをすると元氣にあいさつが返ってくるので、朝から元氣なあいさつができて、いいなと思いました。

これはずっと続けていけるといいです。

中二・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴

自分の分からない言葉を友達と考えているとき、知らない人だけど「くだよ」と教えてくれました。

中三・女子

ぼくはマラソン大会のときに、おなかが痛くて、少し不安に思っていました。そんな時に声をかけてくれたのが先ばいでした。「大丈夫か？」という一言で、とても安心できました。

走る前には、その痛みもひいていき、快く走ることができました。終わった後には、「いい走りだったよ」と言ってくれたのでうれしかったです。ぼくも優しくこうはいなどに声をかけてあげたいです。

中二・男子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

委員会や係で失敗してしまったりした時に、「大丈夫やよ」や「やってあげる」などやさしい声をかけてくれたりしてくれて、すごくうれしいし、「自分もやさしく<sup>※</sup>しんと！」など思えます。

だから、今度は私からそんな言葉をかけてあげられるようになりたいです。

中一・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

※この地方の方言「しらないと（いけない）」



ある日、駅のトイレを利用した時の事でした。

トイレを使用して、外に出て、けいたい電話で電話しようと思ったら、ケータイがありません。かばんの中をさがしても、服のポケットをさがしてもありません。「トイレでおとしたんだ！」と思い、トイレにあせつてもどりました。

その時トイレの入口でおどおどというか、きよろきよろしている外国人の女の人がいきました。その人の手には私のけいたい電話がにぎられていました。外国の人にはなしかける勇氣もなく、その人がけいたい画面を見ていたので、「あ、あ、とられてしまったんだ。もうあきらめよう。」と思った時、その人が私のほうに近づいてきました。どうしようと思いましたが、私も近づきました。「コレ、アナタノデショウ？」かたことの日本語で私の携帯をさしだしました。「持ち主にわたそうと思つて少し中をみました。ごめんなさいね。」そう、がんばつて言い終わると、申し訳なさそうに笑いました。

「いいえ、こちらこそありがとうございます。」

それまで、外国の人のイメージは、「つめたい」とか「関わりたくない」とかのイメージだったけど、すごく心があたたかくなり、安心とともに、すごく、うれしいきもちになりました。

給食のワゴンを運んでいくのを忘れてしまったとき、クラスの子が運んでくれました。

後から、「ごめんね。ありがとう。」と言ったら「あー全然いいよ。」とめつちや優しく言ってくれた。

怒らずにしてくれるところすごくいいと思います？

中二・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

私の班では、自分のそうじ場所じゃないけど、気づいて、玄関のタイルをブラシでみがいっている人がいました。ずっとたまってたよこれをきれいにおとしていたのですごいと思いました。

中三・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

登校中にあいさつしたら、おばさんがあいさつをかえしてくれた。

中一・男子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

私の住んでいる地域でゴミ拾いがありました。その日は寒い日で私と妹とお母さんはマフラーや手袋をしてゴミを拾いました。たくさん歩いて少しあたたかくなったので、妹はマフラーや手袋をとってしまいました。そのとったマフラーを妹はとちゅうで落としてしまいました。

それに気づかず一度家に帰り、もう一度犬の散歩へ出かけました。そのうちゆうに出会った近所のおじさんが「マフラーが落ちてたけど違うかな」と聞いてきました。それは妹のマフラーでした。そのおじさんはマフラーを拾ってくれていました。すごくやさしいなあと思いました。そのおじさんに感謝しています。

中二・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

あるいていて、地域の人に「おはようございます」とあいさつしたら、「おはよう。さむいけどがんばって」と言ってくれました。

中三・女子

クラスの仲間が委員会の仕事を失敗してしまつて、クラス全体に迷惑をかけてしまつたけど、みんな「大丈夫、大丈夫」とやさしく声をかけていました。

中三・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

委員会のときに、係の仕事をかわつたら、「ありがとう」とかの声が聞こえたり、プリントや自学、日吉ノートを配つたら「ありがとう」といつてくれる人がいる。

中一・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

僕たちの班はげんかんのそうじで、とてもそうじする所が多くて大変だったけど、3年生の先輩たちが、ぼくたちの所のそうじも手伝ってくれます。とてもたすかります。

中一・男子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

私が住んでいる日吉町は、お年寄りから子どもまで、あいさつをしたら必ず返してくれます。私が学校帰りだと「おかえりなさい」と言ってくれる人もいてうれしくなります。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

だれかが発表したときに、「いいと思います。」とか「同じです。」などのほんのうが返ってくると、ちゃんと聞いていてくれるのが分かって、発表がとてもしやすいです。

中一・女子

∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \* ∴ ∴ ∴ \*

制服を持ってきたあげたときに、「ありがとう」といわれた。

中一・男子

プリントなどを渡すと必ず「ありがとうございます」と言ってくれる子がいます。私は「どういたしまして」と返します。渡すと必ず「ありがとうございます」と言ってくれるのでとってもうれしいんです。

中一・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

私が給食当番の日に用事などがあつて遅れてしまいました。その時に健康委員の人やそれ以外の人が代わりに給食当番をやってくれました。自分の仕事ではないのに、こころよくやってくれたのでとてもうれしかったです。

中一・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

運動会のいろんな役割を決める時、誰もやりたくないようなことを、ひきうけている子の姿を見たとき、すごいなあと思った。

私もそんな風に、人の役に立てる人になれたらいいなあと思った。

中一・女子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

私の教室では、毎日休み時間の終わりごろに、「早く座ってよ」という呼びかけがよく聞こえます。

みんなが時間厳守を守るために呼びかけていると思うので、いいことだなと思いました。

中三・男子

∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴∴∴\*∴

### 毎朝の会話

「はい、〇〇くん、グローブ。」

「あつ、ありがとう。」

朝部活の前、友達はいつも僕の分までグローブを持ってきてくれます。この会話が日常のようになってしまっています。お礼を言っているだけじゃなくて、僕もその友達に何かしてあげたいなあという気持ちになります。

中二・男子



私のクラスでは、マラソンの練習で、男子が走っている時は女子が応援し、女子が走っている時は男子が応援しています。

マラソンは個人でやる種目だけど、クラスみんなで応援しあいながら、1人1人ががんばっています。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴

## 一生の宝物

私のテストの点数が一気に下がった。そのことでお母さんとケンカになった。私は、もうお母さんなんか大嫌いだと思っていた。

そんな私にお母さんはニコツと笑いかけて一言∴

「家族だから何でも言い合えるし、こうやってちゃんと仲直りもできるね。」その時、私は思った。家族は一生の宝物だと。

中二・女子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴



私にとって、誰かと話している時が幸せな時です。

私はあまり積極的ではないので、ほとんどが話しかけられてから話に入っていきます。誰かに話しかけられると、自分も人の輪の中にいるような気がしてほっとします。

中三・女子

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

思いやりのキャッチボール

友達が係の仕事で忙しかったときに、かばん片づけをしてあげたら、「ありがとう。」と言ってもらえました。その言葉がすごくうれしかったし、また手伝ってあげたい気持ちになりました。

次の日、その友だちが自転車を停めるスペースを私の分まで開けていてくれました。とてもうれしくて、幸せな気持ちになりました。こんなふうに、たくさんの人に思いやりが広まっていくんだと感じました。

中二・女子

## おつりの募金

コンビニのレジに並んでいるとき、前の人がおつりを募金しているのを見た。その人はちよつとうれしそうだった。

それを不思議に思った僕は、おつりの10円を募金してみた。そうしたら、僕もなんだかうれしくなった。

中二・男子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴

私が進路について悩んでいて愚痴をこぼしていた時に、母から「そんな事をいつてもなにも変わらないからやるしかない。」と言われたので、そうだなと思いがんばった。

母には感謝しています。

中三・女子

∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴ \* ∴ ∴

たまにしかほめない先生がいた。その人は野球部のこもんをしていて、へたなプレーをするとすぐにおこられて、いやになるときもあった。でも、いっしょうけんめいやるうちにほめられることがあり、すごくうれしかった。

中三・男子

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

小さなやさしさ

自転車と一緒に登校している友達が、坂道を下るときに時々後ろを振り返ってくれます。「ついてきているかな？」と、僕を気にしてくれているのが伝わってきます。毎朝感じるやさしさです。

中二・男子





# 一般編



今年1年を顧みますと、先ず東日本の大震災で2万人弱の尊い人が犠牲になられ、又、その連鎖に依る東京電力の原発事故。それに遭遇された方々の心痛に心から同情の念でいっぱいです。

我が家も9月20日の台風の大雨で床下浸水と、30年ぶりの惨事に見舞われました。朝からの強烈な雨が断続的に降り、午前11時ごろ一段と強くなり、あつという間に前の小川が氾濫し、玄関の戸を開けたとたん濁流が渦を巻くように入ってきました。先ず脳裏にひらめいたことは、民生委員の重要な書類でした。女房に、まず2階に上がるよう指示し、後はどうして良いのか頭の中が真っ白で、考える余裕すら全くありませんでした。そのうち見事に雨がやみ、あつという間、不思議に川の水が引いていきました。もう後10分降り続いたら完全に床上まで来ていたことは明らかでした。あの時の恐怖は、おそらく生涯忘れる事は出来ません。

又、上の道路の住人が、〃下の家は流されるのではないか〃と心配して駆け付けてくださいました。そして近隣の人たちも、次の日の予報も大雨との事でしたので、消防関係の人達と土のうを作り家の周りに積んでもらい、その誠意ある献身的共助と云う精神の大切さを忘れることは出来ません。

いかに絆と云う恩情が大切かを身を持って体感し、今後の任務の重要性を認識し、一段と精進しなくてはなりません。

70代・男性

## 優しい手

一ヶ月程前、北欧の旅を終え、ヘルシンキから約九時間のフライトで中部空港についたときの出来事です。いつもと違い、その日は滑走路の近くに止まり、連絡のバスで到着口まで行くことになりました。満員のバスの中で同行の娘とはぐれてしまいバスは五分ほど着き、席を立とうとすると、手で持つところがなく、立ち上がれずに困っていると目の前に手が差し出されたので驚いて見ると、外国の方でした。

無事に立ち上がり、バスを降りようとしたら、また目の前に手がありました。先に降りた彼が私を待っていてサポートして下さったのです。私が降りると彼は人混みの中に姿を消して見えなくなりました。

見ず知らずの私の為に、さりげない優しい思いやりに感激しました。ほんの一瞬の出来事でしたが、旅の思い出とともに忘れられない優しい手となりました。

80代・女性

∴  
\* ∴  
∴  
\* ∴  
∴  
\* ∴  
∴  
\* ∴  
∴  
\* ∴  
∴



彼女は九十一歳

病院の眼科の待合室で隣に腰をおろされたその人は、日吉から来たと言われました。「お元気そうで」との私の言葉を受けて、「まだ畑の草取りをしているよ。来年はできんかもしれないね。」と言われます。

顔色もよく、いきいきと語られるその人の年齢は九十一歳と聞いて驚きました。「目は手術したけど、耳は大丈夫だよ」と言う彼女。私との会話も大声ではありません。

きちんと整理整頓するのが好きで、掃除洗濯も人の手を借りないという彼女は、「洗濯機が古いのでほおっておけないけど、洗濯機を回しながら掃除をするよ。若い人の部屋はしないけど廊下はするよ。」と、これ又若い人への気遣いも有。

今日は素敵な人に出会えました。「元気でいてね。パワーを下さいね。」と握手を求めて別れた私は後期高齢者。「ああ、私もあやからねば」とつぶやきながら病院を後にしました。

随分前の事です、2年生相手に「これはのみのぴこ」という絵本を読み聞かせしました。家の子は完全に暗記するほどお気に入り。でも、これを読むと言ったとたん、「これ知つとるー」「私も知つとるー」の大合唱。これは困ったと思いつつも開き直り、「これ知つとるならもう覚えちゃつとるやらあ？一緒に読まへん？」って聞いてみたけど、「えーっ、イヤだー」と言われ、「じやあ頑張つて読むで、聞いてつてね。」と読み始めました。

50代・女性



## 朝の光景

毎朝、多くの人が行き交う瑞浪駅で、発車する電車に向かって手を振る女性を見かけ、いつも気になっていました。ところがある「朝の光景」がその訳を教えてくれました。

その女性と同じくらいの背丈の、それも少し障害があると思われる男の子の肩に手をかけ、何かを話しながら駅に向かう姿を見かけました。女性はいつものように発車する電車に手を振り、その窓から母親であろうその女性に応える様に手を振る男の子を見たとき、一瞬涙が出そうになりました。

後から考えてみると、手を振り合う母と子の二人の強い絆、障害ある息子との容易ではない毎日の生活でも、優しい笑顔で手を振る女性の姿に心を打たれたからではないかと思えます。

その光景は、くじけそうになった時の私に「元気を出して」と云う励ましのことばの様な気がします。これからも一生懸命毎日を過ごしている人達の中から、いろいろな感じさせてもらえるような感性を失うことの無いよう過ごせたらと思います。

？代・女性

## 優しい気持ち

亡くなった人の事を思い出しては、いつまでも泣いている私に  
「人の死はなあ、悲しんじやあいかん。その人の運命なんだで…。」

と話してくれたのは、認知症の進んだ祖父でした。

私が勤めていた介護施設に入所しており、問題行動を話し合われるほどの祖父からの言葉にとっても驚き、でもすぐストレートに伝わってきたのを覚えて  
います。

仕事中でも祖父の顔を見ると泣いて悲しむ私に、祖父としての思いやりだったのかもしれない。とても温かく優しい気持ちを感じました。

亡くなった今でも、あの祖父の言葉は私を支えてくれます。人との巡り合わせや関わりを大切にしたり、様々な困難にあっても向き合うエネルギーをもらいます。

いつかは乗り越えられるから、優しい気持ちで笑ってな、と。

今、私には支え合える家族や友達がいます。

笑顔でいられるよ。ありがとう。

・：\*・：\*・：\*・：\*・：\*・

庭で息子夫婦とコーヒーを飲んでいました。

「お婆さん、ケーキ作ったから来て」

隣の坊やが呼んでいます。手を引かれるままに行くと、  
“お砂のケーキ”が作ってあります。

「わあ、おいしそうやね。切っていただこうかね。」

「ダメダメ、イチゴから先に食べて。」

見るとイチゴ大の小石がのっています。

「ほんとだ！じゃあイチゴを先にいただくね。いったきまーす。」

この様子を見ていた名古屋に住む嫁が、

「お義母さんのこと、友達みたいに誘っている。」

とコロコロと笑いました。

そうなんです。大切なお友達ですよ。小さい子のいない家庭ですが、おかげ  
さまで日々楽しませていただいています。



？代・女性

ありがとう、楽しかったよ

小学校での読み聞かせのボランティアをやっています。ボランティアの日はいつもより早く起き、家のことを済ませ、仕事へ行く準備をして、大慌てで出かけます、寒い冬は、また大変で辞めたいなと思うこともあります、子どもたちの「ありがとう」「楽しかったよ」「また来てね」の言葉に元気をもらっています。

40代・女性

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

## 一円の重み

去年、4才の長男が道で一円を拾いました。以前も千円を拾い届けた事があり、すぐに「またおまわりさんに届けに行く！」と言います。

車に乗り届けに行くと、警察の方も「子どもさんが見つけて届けに来てくれたから」と親切に対応してくださいました。

半年後、一円を引き取りに行き、「ありがとう、お母さん、一円大事にするか

らね。」と。

届けに行くと言われた時は迷った私でしたが、この一言で正しい事を教えてやれてよかったと思いました。

20代・女性

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

二人の男子生徒がけんかをしました。「もう顔も見たくない!」「絶対に自分からはしゃべらない!」お互いが一步も譲らず、ついに一方が学校を休み始めました。

学校へ来たもう一方の男の子。しばらくは何事もなかったかのように友達と過ごしていましたが、ある放課後、普段は真っ先に部活に向かうその子が、教室で掃除をする私の近くで机を整頓しています。黙って作業をし終えたあと、ぼつりと「先生、あいつ、どうしとる?」と一言。

何も言わなかったこの数日、ずっと考えていたのだろうと思うと胸が熱くなりました。気持ちを伝えるのは難しい。でも、友達を思う気持ちのあたたかさを強く感じた出来事でした。

20代・女性

ところが熱心に指導してくださっていた先生が、重い病気になられ入院されました。合唱祭が迫っていたので、私たちは指導者の無いまま、文化センターの駐車場で練習をしていました。病室が近いので、もしかしたら先生に聞こえるかもしれないと、壁に向かって声を出し続けました。

病床でたどたどしく書かれたメモを読んで、私たちは練習によりいつそう力が入りました。

代・女性？

72



そのボランティア活動に参加した生徒が活動に後に書いた一日の振り返りノートに、「今日の町の文化祭で〇〇〇をさせてもらいました。来た人が喜んで食べてくれていたのでうれしかったです。」との記述。ボランティア活動は上からやってやるというのではなく、自分がボランティアを「させてもらった。」という構えで臨むことが大切で、きっとこういう構えの子は伸びるのだらうなと思いました。

40代・男性

∴\*∴・∴∴\*∴・∴∴\*∴・∴∴\*∴

「おはようございます。」朝の職員室に元気な声が響きます。

2年生の集配係の女の子は、みんなのノートを先生に届けるため、毎朝元気な声であいさつをして職員室に入ってきます。気持ちのこもった「おはようございます。」のおかげで、今日の朝をとてもしわやかな気持ちで迎えることができます。『気持ちを込めてあいさつをする』というのは、当たり前のように難しいことかもしれません。それを毎日、当たり前のようにできる。すてきなことです。

20代・男性

学校になかなか来られない生徒がいます。彼も卒業が間近になって卒業の準備や、卒業後の進路を考えなければならなくなりました。卒業アルバムに載せる顔写真も撮影に行かなければなりません。なかなか家を一步踏み出すことができません。撮影に誘うのですが「今日はちよつと・・・。」という返事が幾度か続きました。

ある日、母親から「今日、アルバム写真の撮影に行ってきました。」との電話。どうやって連れ出したのかと尋ねると、釣りに誘ってそのついで行ったとのこと。

毎日忙しいお母さんですが、我が子のために本当の用事以外もできる時間を作って、子どもに寄り添っていただけだ。母の熱意が子を動かしたんですね。

40代・男性

..\*:.:.:\*:.:.:\*:.:.:\*:

朝の会や帰りの会、授業等で、私たちは子どもたちに様々なプリントを配布します。そのプリントを配る時のことですが、いつも温かいうれしい声が聞こえてきます。もちろん「はい、どうぞ。」と言って配りますが、子どもたちは必ず「ありがとうございます。」と言って受け取ります。当たり前のことなのかも

しれませんが、誰に配ってもどのクラスで配っても「ありがとうございます。」という声が返ってきます。小さなことかもしれませんが、そんな時、私はとてもうれしい気持ちになります。

40代・女性

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

ちよつとした声掛けがお互いの“絆”を深める

秋祭り、午前11時神社に集合になっていた。一人ひとりそれぞれが神社に向かって歩いてきた。

しかし、75才のM男さんは違っていた。途中にある家一軒一軒の玄関で「行こか？」と声掛けをしてみえた。最近、M男さんのように声掛けをする人を見ていなかったなので、私はびっくりした。

ちよつとした気配りのこの行動が、お互いの“絆”を深めていくのだろうと思った。

70代・男性

3年生のM男くんは、3年間健康委員を続けています。昼休みに保健室へ行くと委員長のK子さんとマラソン大会の準備を真剣にしている姿があり、私は思わず「がんばつとるね。」と声をかけました。

マラソン練習の前日には、昼休みにコースの準備についての説明を健康委員にしました。「ライン引きは大変だから3年生頼むぞ。」というと、早速、放課後、一番に体育倉庫の鍵を借りにきて、下校過ぎても黙々とライン引きをする姿がありました。また、マラソン練習後にまだ1、2年生が反省会をやっているのを見ると、1、2年生の仕事であるコーンの片付けまでやっているのに驚きました。

そんなM男くんの自分の仕事に対して直向きに努力し、3年生として1、2年生の仕事まで黙々とする姿勢に心を打たれました。

50代・男性

$\begin{matrix} \cdot & \cdot \\ * & \\ \cdot & \cdot \\ \bullet & \\ \cdot & \cdot \\ * & \\ \cdot & \cdot \\ \bullet & \\ \cdot & \cdot \\ * & \\ \cdot & \cdot \\ \bullet & \\ \cdot & \cdot \\ * & \\ \cdot & \cdot \end{matrix}$

今日は、『お弁当の日』です。みんな、ちよつと照れくさそうにお弁当のふたを開けました。赤・黄・緑の色にこだわったお弁当、そぼろで作った大好きなトトロ、卵焼きをハート型に……などなど、何日も前から計画をして、材料を工

夫し、朝早く起きて、はりきって作ってきたお弁当が教室に並びました。お弁当を食べる子どもたちの顔は、誇らしげでうれしそうでした。

『お弁当の日』は、毎日早起きしてごはんを作ってくださいるおうちの方への『感謝の気持ち』をあらためて思い起こす日になりました。そして、「大変だったけど、楽しかったから、これからはお弁当を自分で作ってみようかなあ……」なんて、『ひとりだち』の芽が生まれた日にもなりました。

50代・女性

∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴∴\*∴

先日、出かけた帰りの電車で、お腹の大きな妊婦さんが、小さなお子さんと手をつないで乗車してきたので、友人と2人「どうぞ」と座席を譲りました。「ありがとうございます、どうもすみません。」とお礼を言われ、何駅か過ぎた頃、反対側の席が多く空き、私と友人はそちら側に座ってうとうとしていたら、次に止まった駅で親子が降りられるようで、私たちに「ありがとうございます」と、また笑顔でお礼を言って降りていきました。

2度もお礼を言われたのは初めてですごく温かい気持ちになりました。

30代・女性

屏風山に登りました。

昔は瑞浪小学校も土岐小学校も、学校行事で登っていました。今回は六十歳前後のおじさんおばさんで行きましたが、この年まで瑞浪に住みながらはじめて登る人もいました。

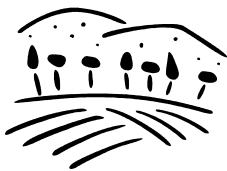
日の光が差し込んでくるヒノキの林を抜け、奥入瀬おいらせを思わせるようなせせらぎの道を水の音に励まされながら歩き、湿地で花に迎えられます。展望台から

わが町を眺め、天下を取った殿様の気分を味わいます。樹齢三百年の大榎つがの樹を見た友人が、「千手観音みたい」と叫びました。手を広げ、わが町を包み込むように立っていて癒されます。

家から毎日見ているあの山の頂上に登った達成感と魅力にはまったおじさんお婆さんがたくさんできました。

登山道や湿地を整備してくださっている方々ありがとうございます。  
わが町再発見です。

・・・・・\*・・・・・\*・・・・・\*・・・・・\*・・・・・\*



？代・女性

古い文集を見つけました。昭和二十七年発行とあります。五年生の少年が書いた作文が目にとまりました。

明日は写生大会で、画用紙を買うお金2円を父ちゃんにもらわなければいけないけれど、何と言ったらいいか考えながら布団に入るところから始まります。翌朝、しぶしぶながらくれた父ちゃん、この前は絵の具に三十五円もかかったのにくれた。きっと自分は使わないように皆を樂にさせてくれているのだと結んでいます。

またある少年は、綴り方の用紙を買うから十円欲しいと父ちゃんに言ったら「そんな金ない、借りてこい」と母ちゃんに言った。母ちゃんは怒ったように外へ出て行った。ふてくされて布団をかぶっていたら、父ちゃんが五円玉二つくれた。どこで借りてくれたんだろう、すまない、と思いながらも、店で二つの五円玉を出して綴り方用紙を買ったら、嬉しくてにこにこしてしまった。という内容です。

貧しくても、いい時代だったと思います。



？代・女性

学校前の押しボタン信号機にいと、中学生の女の子が一人で歩いて来ます。挨拶を交わした後、彼女は信号機の前で佇んだままボタンをなかなか押そうとしません。見ていると、右を見て左を見て、車の来ないのを確かめてからようやくボタンを押しました。ドライバーに迷惑を掛けないようボタンを押すタイミングを考えていたのでした。後から来た小学生の分団も、班長が行き来る車を見ながらボタンを押すタイミングを考えています。さらに自分たちより少し遅れてやって来る別の分団の子達も見ています。信号機を使った大切な一渡り。どの子からそんな思いが伝わってきて、心がほっと温まりました。

50代・男性

・：\*・：・：\*・：・：\*・：・：\*・：

一杯のコーヒ―

先日、瑞浪市内の民間で行っている「ひきこもり」の支援団体に一人のお友達を連れていく機会がありました。

そのお友達は二十歳の子どものさんの事で悩んでいました。少しお話をお聞き



したいと思って行っただけですが、残念ながら担当の方がお留守でした。

けれども、その時そこにみえた二十代の男の方がコーヒーを入れてくださいました。コーヒーをいれながら、

「ぼく、高校の時は部屋から一步も出られませんでした。もっと早くここに来ればよかった。」

と語ってくださいました。

今は医療機関で薬をもらいながら、アルバイトにも行けているとのこと、薬も随分減ったという事でした。

こちらが相談に行っただけなのに、その青年のさわやかさ、ひたむきな感じが心に残り、とても励まされました。

お友達のお母さんも大変喜ばれ、担当の方とも相談され、次の日には「親の会」にご夫婦で参加されたそうです。

その時の一杯のコーヒーは、私が今まで飲んだどのコーヒーよりおいしかったです。



50代・女性

先日電車に乗ったときの話です。小学生低学年くらいの兄弟とお父さんが乗ってきました。私の隣には一人座れるスペースが空いており、兄弟の弟がその席に座りました。「僕も座りたい」とすねる兄と「すぐだから」となだめるお父さんを横目に、人見知りの私は「どうぞ」の一言が言えず、用もなく席を立ち隣の車両に移りました。振り返ると笑顔で並んで座る二人の姿。いいことしたな、と自己満足。

しかし、一駅ほどですぐに彼らは降りていきました。なんだ、私のほうが乗車距離が長いじゃないか、気づかないふりをしていたら座っていられたのにもつたいないことをした。たった一駅、あまり席を譲った意味はなかったな、と

すると、ホームから先ほどの男の子が、私の目の前のドアの所まで駆け寄ってきて、「ありがとう」と言って帰っていきました。その優しく勇気ある一言にどれほど救われたでしょうか。

20代・女性

..\*:.:.:.\*:.:.\*:.:.\*:.:.\*:.:

## 座席を譲られて

友人が出品している東海伝統工芸展へ出かけたときの事です。

千種の駅から地下鉄へと移動しました。電車は混んでいて、夫と私は吊り革を握って立っていました。

すると、前方に座っておられた若い女性二人が

「お見受けしたところお二人ともお元気そうなので失礼かと思いましたが、どうぞおかけ下さい」

と言いながら立ち上がられました。

どう見ても白髪頭の私共、高齢者に相違なく、元気そうに見えなかったでしょうが、気を遣ったのその言葉に「すぐ降りますので結構です」との言葉を飲み込んでしまいました。

二つ目の駅でお二人は降りられました。私共も少し離れて降りました。そして彼女等の後姿を見ながら、ゆつくりと会場へ向かいました。心の中で「お気づかい、ありがとうございます」と呟きながら。

今日もいい日でした。

年の差 80歳

ふた月に1回、1泊2日でやってくる3歳の男の子と83歳の老人の一こまです。

曾祖父の部屋の戸をガラツと明けて一言「ごはん」と、大きな声で呼びます。曾祖父は小さくうなずきます。椅子から立ち上がろうとしますが、中々腰が浮きません。

歩行器につかまり何度もどっこいしょをしています。それをじっと見ていた3歳児が歩行器を持つ老人の手の上に自分の手をのせて引つ張ろうとします。やっとの思いで立ち上がり歩行開始。食卓まで10mほどあります。廊下を3歳児先導で歩いてきました。前方にさっきまで遊んでいた乗用の車を発見。それを移動させ、トミカやブロックを急いで片づけ進路を開けています。曾祖父の席の椅子を座りやすい向きに変えて待ち構えています。やっと到着。座ったことを確認して3歳児も着席。その間、約12分です。

曾祖父「ありがと」3歳児もうれしそうです。それでは、いただきます。

50代・女性

・\*・\*・\*・\*・\*・\*・\*・\*

とにかく何があっても、何もなくても一緒に布団に入って寝る。そして全て忘れる。それが夫婦円満の秘訣です。

50代・男性

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

何年になるかなあ

夫婦になって、何年になるかなあ？

うーん、30年は越えたけど……たしか、34年になるはず。「良く持ったな！」毎年の二人の会話です。このごろは会話も少なくなりました……。

テレビの旅番組で「今度、ここ行こか」とは言ってくれるものの、いまだ実現なし。

「一緒に行こか」と言ってくれるだけでも「まっいいか」そして「いつか実現してくださいね」と心の中でつぶやいています。

ありがたや。

50代・女性

「おはよう」

今日も元気に起きたね。

老夫婦、にっこり！

70代・女性

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

月に1回、「50歳以上の夫婦2名で千円」を使って映画に行きます。2時間感動を共有するだけで半月くらいは仲良くできます。遊び人を自負する人、仕事命の人にお勧めの一手です。

50代・男性

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

届いたよね

久しぶりに名古屋で娘とデート。

帰宅通勤客のラッシュ時と鉢合わせ。重い荷物をあみ棚に上げる気力もなく

両手に提げる私。高蔵寺まで来たとき、私の前座席より3人ほど右に座った中・高生らしき女の子が替わりましようとうと声をかけてくれる。隣の方々によけて頂きながらその席まで行くというのも億劫でつい「ありがとう、でも大丈夫」と断る。所在なげに携帯電話を取り出し、ニラメッコをしている彼女。その姿を見ながら、どうして素直にありがとうとその好意を受けてあげなかったのかと後悔する私。

多治見で一氣に空く。降りていく彼女に「ありがとう。おばさんとっても嬉しかったよ」と告げる。ニコツと笑みを返してくれた彼女。  
私の思い届いたよね。

70代・女性

・\*・\*・\*・\*・\*・\*・\*・\*

正月明け、若い職員さんが、私に「※あけおめ」と言いました。私は即「あけおめ」と答えました。そうすると、そこにいた二、三人の若い職員さんが「すぐにご答えるKさんは若い」と言ってその場を立ち去りました。私はなんだかい気分になりました。

60代・女性

のんのんさん　へっあん

※「あけましておめでとうございます」の略語・若者言葉

朝、仏様にお経を唱えている時に、私の外孫2人（5才児、2才児いづれも女、仏壇のない家庭）が傍に座って木魚を叩いたり、鈴を鳴らしたりして「のんのんさん、へっあん」と云って頭を下げたとき「慈悲深く誰にでも愛される」人に育って欲しいと思いました。

60代・男性

∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴・∴\*∴

おばが亡くなりました。何年ぶりかでいとこ達が集まった時のこと。年長のいとこが幼かった昔の話を聞かせてくれました。

祖父から助けてもらったこと、皆がかわいがられたこと、「そんなことあったのか」と新たに知ったこと、皆がそれぞれ心に響いて、改めて“絆”を感じ、大事にしていききたいと思いました。亡くなったおばが引き合わせてくれました。

60代・女性



・：\*・：・：\*・：・：\*・：・：\*・：

孫からの誕生日プレゼント

いつも私の誕生日には、小学校低学年の孫が、保育園の頃から毎年手作りして、とびだししかけ絵本風のプレゼントをしてくれます。

メッセージは

“おたんじょう日

おめでとう

いつも遊んでくれて

ありがとう

長いきしてください”

そのプレゼントに、いつも※胸キュンです。



60代・女性

※胸が締め付けられてキュンとなること・若者言葉

・：\*・：・：\*・：・：\*・：・：\*・：

レストランにて、男子高校生が両手を合わせ、頭を下げて「いただきます」と挨拶する姿に、一目で家庭のしつけの大切さがわかりました。

ある猛暑が続いていた日の出来事。学校帰りに汗だくだくで乗った電車の中、いつもと違うアナウンスが流れた。

「みなさん、このところ暑い日が続いていますが、水分補給を充分してください。…」

と。  
孫は毎日乗っている電車なので、よほどこの言葉が心に残ったのでしょう。帰るなり私に一生懸命話してくれる。

「本当にね。心温まる言葉だよね。」  
と答える。

こうして、マニュアル通りではない車掌さんの優しい言葉に気づき、話してくれたことにとても嬉しくなりました。

車掌さんの添えられた一言に心を打たれ、そして孫の心の成長にも感動し、幸せになれた一日でした。

## 百寿を迎えた母にお嫁さんからの言葉

先日、母の百歳のお祝いの会が近くのホテルであつた。

一世紀を生きようとする、本人もですが、一番大変なのは共に生活をする家族でしょう。お嫁さんの挨拶の言葉に涙が流れました。

「おばあちゃんと話す時は、嫁ではなく娘と思つて接し、今やおばあちゃんはお孫さんの子どものように思えて世話をしているから一寸も苦にならないです。」と。母を見ているとお嫁さんにも

「いつも有難う、ありがとう、すまんあ」と言っています。

人間、どんな時でも心と心のキャッチボールですね。いつまでもよい関係で母を見守つて欲しいと思います。

70代・女性

バアバ　だいじょうぶ

2人暮らしの老夫婦ですが、年末遊びにやって来た2才になる孫娘が、食事をしていいる時、私が喉につまらせて咳をしたら、「バアバ、だいじょうぶ」と云って気使ってくれた時、孫の好物を作ってやろうと思いました。

60代・女性

・∴・  
・\*∴・  
・∴・  
・\*∴・  
・∴・  
・\*∴・  
・∴・  
・\*∴・

挨拶

あいさつは人の心をあたたくし、ほっとさせるふしぎな力を持つ言葉である。

午後八時を過ぎると長い歩道橋の向こうの端は薄暗くて見通せない。橋の半ばあたりに水銀灯の明かりがあるが、一人で渡っていくには何だか心細い感じだ。誰か一緒になって渡っていく人があればと振り返っても町の通りにはそれらしいき影もない。



思いきって渡りはじめ十米程度歩いたところで向こうから渡ってくる男性の影を認めた「普通の男性じゃないか。別になんていうこともないじゃないか」と自分に言い聞かせたが、心臓が早鐘のようになり足がすくんだ。

男性はどんな歩いてきて真横まで来た。すると、大きな声で「おやすみなさい」とあいさつをされたのだ。私も思わず「おやすみなさい」と答えたが、男性の遠ざかる姿を見送りながら、「あれは高校生だった、「気をつけて帰ってね」と一言言えばよかった」と追いかけて声をかけたい思いにかられた。

人は知り合いでなくても声を掛け合うことで警戒心をといたり心を通わせた  
りできる。

「おはようございます」「おやすみなさい」

簡単な誰でもかわす挨拶がどんなに深い意味を持つかを痛感したことだった。

70代・女性

・・・・・

90才のおばあちゃんに、8才のひ孫が「百才まで長生きしてください」とお手紙をくれたそうです。

おばあちゃんは涙が出るほどうれしかったと話してくれました。

60代・女性

高齢で体の不自由な方のゴミ出しを永年に亘ってズウーと続けている感心な方が近所にみえます。

昨年、そのゴミ出しをしていた奥様が亡くなられましたが、その後を引き継いだ御主人が今でも変わらず続けておられます。

このせちがらい世の中で、隣近所だからと言ってなかなかできる事ではありません。

黙々と当たり前のようにしてみえるその行いに、本当に頭が下がり、深く感じ入っています。



60代・女性

ちょっといい話Ⅰ

平成 24 年 3 月発行

瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議  
(瑞浪市役所 総務部 市民協働課)

〒509-6195 瑞浪市上平町 1 - 1  
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-8749  
<http://www.city.mizunami.gifu.jp/>